

Keio University SFC 2004

『コラボレーション技法』

第3回 創造的思考②:収束思考

いば たかし

井庭 崇

慶應義塾大学総合政策学部 専任講師

iba@sfc.keio.ac.jp

<http://www.sfc.keio.ac.jp/~iba/lecture/>

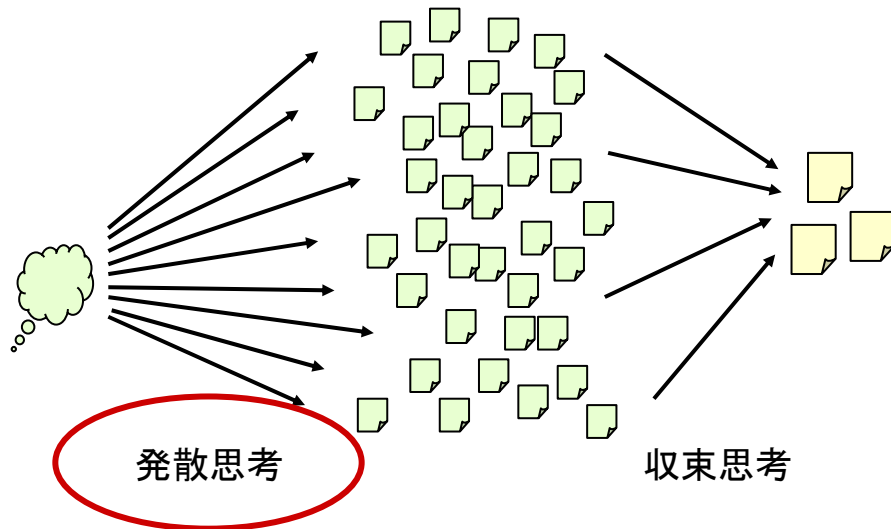
グループワークのテーマ



「魅力的な場をつくる」

※ 最終発表会では、各グループごとに、
「魅力的な場」を提案してもらいます。

創造的思考の2つのフェーズ



発散思考: 自由連想



■ ブレインストーミング *Brain Storming*

- Alex F. Osborn氏 考案
- アメリカの広告会社BBDO社 社長
- デザイナー、コピーライター、営業担当者を集めて、自由に広告の発想をするための基本ルールと集団技法を試行錯誤
- 1939年に発案・実用化(ニューヨークタイムズ紙)



ブレインストーミングの基本ルール



- 判断の先送り *Deferment of Judgment*
 - 出てきたアイデアを評価・批判しない
- 自由な展開 *Free-Wheeling*
 - 自由な雰囲気の中で行う
- 質より量 *Quantity yield quality*
 - とにかく多くのアイデアを出せるだけ出す
- 組合せと改良 *Combination and Improvement*
 - 出されたアイデアに、他のメンバーが便乗して工夫を加え、新しいアイデアを連鎖的に生み出していく。

アイデアの進化



「アイデアとは
既存の要素の新しい組み合わせ
以外の何ものでもない。」

第2回の宿題



- 提出宿題: 自分が「面白い!」と思うこと・もの
 - 自分が「面白い!」と思うこと・ものを20個考える。
 - collab-submit@sfc.keio.ac.jpまでメールで提出
 - メールのは名は「collab-hw2」
 - 4月25日(日)夜11:00まで

- 準備宿題: 大きめのポストイットを用意
 - 次回の授業で「大きめのポストイット」を持ってきてください。
 - サインペンや太いボールペンも持ってきてください。

Keio University SFC 2004

『コラボレーション技法』

第3回 創造的思考②: 収束思考

いば たかし

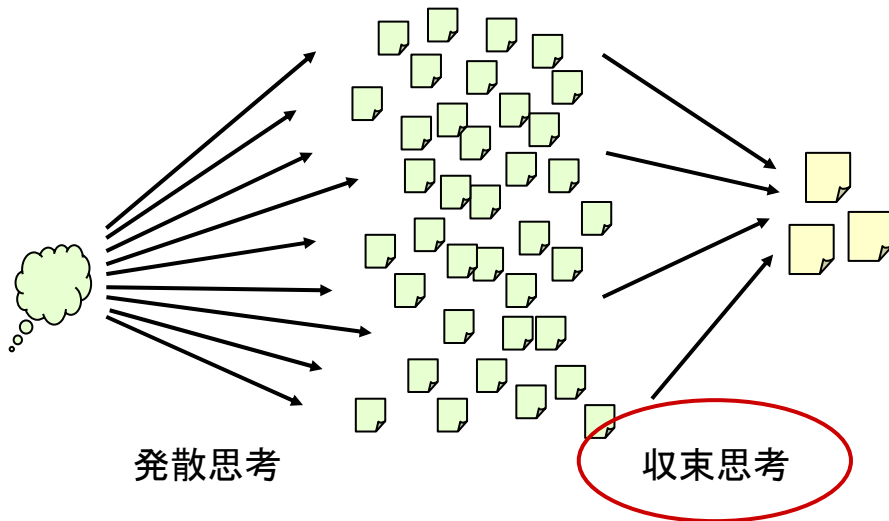
井庭 崇

慶應義塾大学総合政策学部 専任講師

iba@sfc.keio.ac.jp

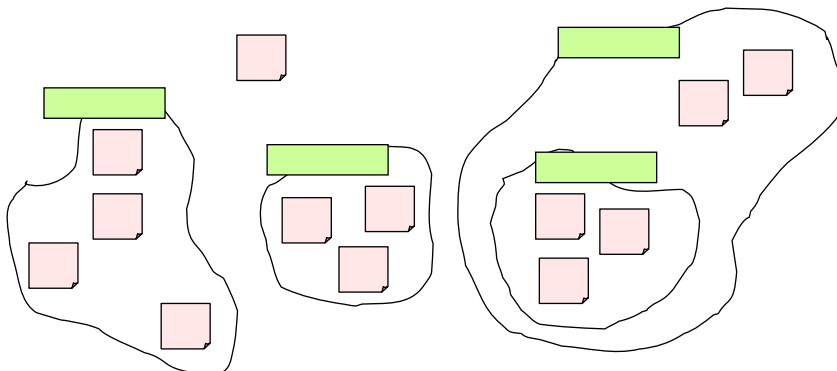
<http://www.sfc.keio.ac.jp/~iba/lecture/>

創造的思考の2つのフェーズ



KJ法

- 文化人類学者 川喜田 二郎 氏が提案
- 空間型の収束法
- 現実からのボトムアップで概念分類



KJ法の手順

- テーマを決める
- 情報を取材しデータ化する
- データをカード化する
- 「親近感を覚える」カード同士を集める
- ラベルをつくる
- 次々と上位のグループへまとめる

注意点: カードのまとめ方は動的に変化するもの。
既成概念にとらわれないように!

普通はテーブル、ホワイトボード、模造紙で行うが...



今日は、ステージと壁を使います。

今日の演習

ランダムにチームを組み、
各人が考えてきた「面白いこと・もの」を、
KJ法を使ってまとめなさい。

面白さにはどのような種類があるのか？

かならず小分けから大分けに進む

- 「独断的な分類のワクぐみを適用し、そのできあいのワクの中にたんに紙きれの資料をふり分け、はめこんでいるにすぎないのである。これではKJ法の発想的意義はまったく死んでしまう。これに反して、小分けから大分けに進む場合はぜんぜんちがう。吐き出された意見、情報それ自身が語りかける示唆に素直に耳を傾けていたら、自然にこういうふうにならされてきたということである。」

「面白い」という言葉

■もともとは美しい景色を形容する語

- 「目の前が明るくなる感じ」
- 「目の前が広々とひらける感じ」

1. 気持が晴れるようだ。愉快である。楽しい。
2. 心をひかれるさまである。興味がある。趣向がこらされている。
3. 一風変っている。滑稽だ。おかしい。
4. 思うとおりで好ましい(主に打消の語を伴う)

『広辞苑』より

今日の宿題(第3回)

※KJ法に興味をもった人は、
『発想法:創造性開発のために』
(川喜田二郎, 中公新書, 1967)

■提出宿題①: 今日得た「面白さ」についてまとめる

- KJ法の結果得られた「面白さ」の種類について、その結果と考察をまとめる。
- collab-submit@sfc.keio.ac.jpまでメールで提出
 - Wordで作成し、添付。
 - A4用紙1枚程度
 - メールのはじめの件名は「collab-hw3」
 - 5月1日(土)夜11:00まで
 - チーム番号、学生番号、名前を必ず書いてください。
 - この宿題は、今後の授業等で公開されます。

■提出課題②: これまでの授業の感想・意見

- 上記のメールの本文に書く